



2024年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 サンネクスタグループ株式会社
コード番号 8945 URL <https://www.sunnexta.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 章
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務グループ長 (氏名) 吉田 勇
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5229-8839

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,944	1.5	169	12.1	171	12.7	116	15.3
2023年6月期第1四半期	1,974	5.4	151	3.0	152	4.9	100	1.2

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 159百万円 (%) 2023年6月期第1四半期 252百万円 (86.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	12.76	12.38
2023年6月期第1四半期	11.13	10.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	9,588	7,108	72.5
2023年6月期	10,072	7,436	72.3

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 6,951百万円 2023年6月期 7,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		18.00		19.00	37.00
2024年6月期					
2024年6月期(予想)		19.00		19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	9.0	670	22.6	700	22.6	480	1.3	52.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期1Q	10,749,700 株	2023年6月期	10,749,700 株
期末自己株式数	2024年6月期1Q	1,632,636 株	2023年6月期	1,632,636 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期1Q	9,117,064 株	2023年6月期1Q	9,061,564 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ¹⁾(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化が進み、回復基調で推移しました。しかしながら、資源・エネルギー及び原材料価格の高騰や円安による物価上昇、世界的な金融引締めによる景気下振れリスク等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、少子高齢化の進行や働き方の多様化の拡大により人手不足が深刻化しており、アウトソーシングの導入を検討する企業が増加しております。また、マンション管理市場においては、新築分譲マンションの供給戸数の先細りが見込まれるものの、マンションストック数は年々増加しており、経年劣化に伴う共用部の修繕工事も増加傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、2025年6月期を最終年度とする中期経営計画「NEXT STANDARD 2025」を推進しており、2024年6月期においては、受注環境が回復基調にある中、新たなサービスを加えたストックの積み上げによる事業拡大と業務効率化による生産性向上で、アウトソーシング領域の拡大とオペレーションの変革をさらに推し進めております。また、今後のアウトソーシング業務のさらなる安定稼働に向けて、人材の定着・育成や働きやすさ向上を目的に事業所移転、人員補充、処遇改善などに取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりであります。

売上高は19億44百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は1億69百万円（同12.1%増）、経常利益は1億71百万円（同12.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億16百万円（同15.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①社宅マネジメント事業

社宅マネジメント事業においては、企業における高い外部委託ニーズを背景に新規受託の拡大に向けて新規案件発掘に注力しております。また、既存顧客に対してはカスタマーサクセスに向けた提案を促進し、ストック拡大に取り組んでおります。当第1四半期は人事・総務向けBPOサービスの受注が堅調に推移したことに加え、2023年10月1日からスタートしたインボイス制度への対応支援としてのスポット収入が増加したことから、売上高は10億15百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は3億30百万円（同11.6%増）となりました。

②マンションマネジメント事業

マンションマネジメント事業においては、マンション管理の新規受託における引き合いは引き続き堅調であり、管理戸数は増加しております。また、小修繕工事も前期比で増加する一方、不動産の買取再販取引において仕入物件のリフォーム完成時期が第2四半期以降に集中したことから当第1四半期における成約件数が大きく減少し、売上高は8億21百万円（前年同期比11.1%減）となりました。利益面では、管理員や事務員の欠員を外部の人材派遣で補ったことによる費用の増加等も影響し、営業利益は16百万円（同44.8%減）となりました。

③インキュベーション事業

インキュベーション事業においては、複数のサービスが伸長したことから、売上高は1億7百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は12百万円（同10.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億84百万円減少し95億88百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億33百万円減少し、73億28百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少5億52百万円、営業立替金の増加2億34百万円、販売用不動産の増加1億25百万円、その他に含まれる未収還付法人税等の増加1億13百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3億50百万円減少し、22億59百万円となりました。これは主に投資有価証券の減少3億97百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少し、24億80百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、20億17百万円となりました。これは主に営業預り金の減少1億47百万円、その他に含まれる預り金の増加1億29百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億27百万円減少し、4億62百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少1億23百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億28百万円減少し、71億8百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少2億75百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期業績予想につきましては、2023年8月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,762,731	4,209,916
売掛金及び契約資産	386,253	299,631
営業立替金	1,367,897	1,602,762
商品	1,953	1,824
販売用不動産	199,406	324,912
仕掛品	4,422	11,167
貯蔵品	10,319	11,897
その他	732,538	868,862
貸倒引当金	△3,823	△2,779
流動資産合計	7,461,698	7,328,194
固定資産		
有形固定資産	206,798	233,353
無形固定資産	418,624	418,404
投資その他の資産		
投資有価証券	1,645,527	1,248,339
その他	339,601	359,907
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	1,985,105	1,608,222
固定資産合計	2,610,527	2,259,980
資産合計	10,072,226	9,588,175
負債の部		
流動負債		
買掛金	180,777	138,262
未払法人税等	142,139	99,612
営業預り金	796,469	648,777
賞与引当金	53,958	130,705
役員賞与引当金	9,346	2,800
株主優待引当金	7,348	—
その他	855,730	996,934
流動負債合計	2,045,770	2,017,092
固定負債		
退職給付に係る負債	187,240	183,461
繰延税金負債	403,009	279,535
固定負債合計	590,249	462,996
負債合計	2,636,020	2,480,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,033	988,033
資本剰余金	742,983	742,983
利益剰余金	5,739,269	5,682,400
自己株式	△1,187,197	△1,187,197
株主資本合計	6,283,089	6,226,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,000,932	725,363
その他の包括利益累計額合計	1,000,932	725,363
新株予約権	152,184	156,503
純資産合計	7,436,206	7,108,086
負債純資産合計	10,072,226	9,588,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,974,507	1,944,800
売上原価	1,515,130	1,466,363
売上総利益	459,377	478,437
販売費及び一般管理費	307,939	308,721
営業利益	151,438	169,716
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	270
受取手数料	259	185
補助金収入	614	1,300
受取保険金	22	—
その他	129	183
営業外収益合計	1,044	1,939
営業外費用		
その他	343	134
営業外費用合計	343	134
経常利益	152,139	171,521
特別利益		
新株予約権戻入益	51	500
特別利益合計	51	500
特別損失		
固定資産除却損	27	0
特別損失合計	27	0
税金等調整前四半期純利益	152,163	172,021
法人税等	51,222	55,666
四半期純利益	100,940	116,354
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,940	116,354

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	100,940	116,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151,150	△275,568
その他の包括利益合計	151,150	△275,568
四半期包括利益	252,091	△159,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,091	△159,213
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	943,745	924,289	106,472	1,974,507	—	1,974,507
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	94	1,729	17,515	19,339	△19,339	—
計	943,840	926,019	123,988	1,993,847	△19,339	1,974,507
セグメント利益	296,331	29,770	11,468	337,569	△186,131	151,438

(注) 1. セグメント利益の調整額△186,131千円は、セグメント間取引消去4,881千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191,012千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,015,908	821,447	107,444	1,944,800	—	1,944,800
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	94	1,628	17,400	19,123	△19,123	—
計	1,016,003	823,075	124,845	1,963,924	△19,123	1,944,800
セグメント利益	330,803	16,446	12,625	359,875	△190,158	169,716

(注) 1. セグメント利益の調整額△190,158千円は、セグメント間取引消去4,151千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△194,310千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。